



園地の病害虫の発生状況をよく確認し、適切な防除を行ないましょう。

また、薬剤は丁寧にたっぷり散布しましょう。

### 病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

#### ●9月上旬の散布(着色開始期前:9/1~7)

散布日 9月 日

散布量 ℓ

散布薬剤	水	100ℓ
	展着剤	10mℓ
	キノドー顆粒水和剤	100g(収穫14日前、5回以内)
	劇モスピラン顆粒水溶剤	25g(前日、3回以内)
対象病害虫	炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、カキノヒメヨコバイ、カキノヘタムシガ、カメムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する	
備考	<p>●アメリカシロヒトリの発生園は、アディオン水和剤 3,000 倍(7 日前、5 回)を加用する。</p> <p>●モスピラン顆粒水溶剤は劇物登録農薬です。</p> <p>農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。</p>	

#### ●特別散布

散布日 10月 日

散布量 ℓ

散布時期	: 10 月上中旬 (水 100ℓあたり)
散布農薬	: 展着剤 10 mℓ トップジン M 水和剤 100g (前日 6 回)
対象病害虫	: うどんこ病 炭疽病
注意事項	: 条紋から発生する裂果・ひび割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。条紋多発園で散布する。

#### ●今後の管理について

\* 雑草管理 …主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしておく。

バスタ液剤(収穫前日まで、3回以内)

10a 当り 水 100~150ℓに対し、バスタ液剤 500mℓ

\* 見直し摘果…着果量が多い場合は、変形果などを中心に摘果しましょう。